

## “レッツゴーKG”が横須賀に鳴り響く！

関学応援団総部 × 横須賀学院高校チアダンス

関西学院同窓会神奈川支部会員のみなさん

晩秋の候、皆さまには益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より当支部活動へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今回は神奈川支部が母校貢献、地域貢献の一貫として活動した内容をご報告いたします。

同窓会本部では亀岡会長のリーダーシップのもと、昨年度より、関西圏から離れた支部や地域に応援団の“生のパフォーマンス”を届ける活動が進められています。支部総会だけではなく、地域の駅前や商店街での演舞、地元の高校生との交流を通じて、関学の名を全国に広めようという大変意義深い取り組みです。

この活動に当支部も賛助し、神奈川支部総会の前日 11月 21 日(金)17 時半より、横須賀学院高等学校(横須賀市:天野海走校長)にて両校交流会が行われたので、その日の様子をご報告いたします。

関西学院同窓会神奈川支部

支部長 井村正和

## ～当日のプログラムと交流の様子～

### 【オープニングは両校の演舞披露】



まず最初に 横須賀学院高校チアダンス部によるオープニング演舞(3班構成)  
全国大会でも上位入賞を果たす実力を持つチアダンス部の皆さん、3班に分かれて演舞を披露してくださいました。キレのある動きと笑顔あふれるパフォーマンスは、さすがの迫力と完成度で、会場は一気に華やいだ雰囲気に包まれました。

続いて、関学応援団総部(指導部・チアリーダー部)による力強い演舞が披露されました。

応援団は、横須賀学院の食堂メニューなど地元・横須賀の名産などを盛り込み、同校高校生が思わず身を乗り出す学生参加型のパフォーマンス“学生注目”を展開し会場全体が大きな笑いと拍手に包まれ、ぐっと距離が縮まる瞬間となりました。



### 【「レッツゴーKG」体験会(指導部・チアに分かれて実施)】

その後、応援団の代表的な演舞「レッツゴーKG」の体験会を実施しました。

参加者は

- チアダンス部 34 名
  - アメリカンフットボール部 15 名(マネ含む)
  - KG応援団総部 10 名
- という、大人数での賑やかなプログラムとなりました。

ここでも“予想外の展開”があり、  
アメフト部の男子生徒のほとんどがチアリーディング班を希望し、  
逆にチアダンス部 10 名ほどとアメフト女性マネを中心に指導部(学ラン)のレッスンを受けるという、微笑ましい現象が生まれ、会場は大きな笑いに包まれました。



成果発表では、

- ・ チアダンス部の振付習得の速さには応援団総部チアリーダー部も驚くほどでさすがでした。
- ・ アメフト部のラインダンスは爆笑の渦の中、全員が全力で挑戦と、それぞれの持ち味が光り、非常に盛り上りました。

生徒さんご家族も見学に訪れたり、先生方も動画を熱心に撮影されるなど笑顔と応援があふれる温かい時間となりました。



### 【将来のKG応援団候補生も!?】

参加した生徒の中で「関学の応援団に入りたい」「関学に進学したい」とまではいきませんでしたが、今回の交流が、未来の“青いユニフォーム”に繋がれば嬉しい限りです。同校からはほぼ毎年KGへの入学者はおり応援団(吹奏学部)やグリークラブ、アメフトなどで活躍している学生もいるそうです。

### 【両校校歌によるエール交換】

最後に、横須賀学院高校と関西学院大学の校歌を双方でエール交換し、互いの健闘と友情を分かち合い、名残を惜しみながらの閉会となりました。集合写真も若さがハチける写真となりました。

なお、横須賀学院の天野海走校長先生は、本学大学院神学研究科前期課程(1999年修了)の同窓生であり、今回の交流を同校に依頼した本年2月から足かけ10ヶ月の間とても丁寧に対応いただきました。同窓としても大変ありがたく意義深いものとなりました。



## 【終わりに】

神奈川支部として、地元高校との交流会開催企画は初の試みでしたが、若さあふれる活気や笑顔、そして挑戦する姿勢に触れ、私たちにとっても大いに刺激となる素晴らしい時間となりました。

今後も当支部は、地域と母校をつなぐ架け橋として、次世代へ関学スピリットを伝える取り組みを進めてまいります。

引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



以上  
文責:神奈川支部支部長 井村正和